J7824

VivoTab
ユーザーマニュアル

ASUSは環境に優しい製品・パッケージ作りに取り組んでおり、環境に及ぼす影響を最小限に抑えると同時に、消費者の安全と健康への配慮を行っております。二酸化炭素の排出量削減のため、ユーザーマニュアルのページ数を削減しました。
ユーザーマニュアル完全版および関連情報は、本機に収録のユーザーマニュアル、またはASUSのサポートサイトをご参照ください。
http://support.asus.com/
http://www.asus.co.jp（日本語）

バッテリーの充電

長時間バッテリー電源のみを使用する場合は、完全にバッテリーを充電してからご使用ください。電源アダプターが本機とコンセントに接続されていれば、バッテリーは自動的に充電されます。本機の電源がONの場合は充電時間は長くなります。

重要：本機のバッテリーが完全に充電されたら、電源アダプターを本機から取り外してください。コンポーネントによっては、長時間の充電により劣化が起こる場合があります。

航空機内での使用について

多くの航空会社では電子機器の使用に対して規定を設けています。航空機内での本機の使用については、各航空会社にお問い合わせください。

重要：本機をハードディスクをX線装置（ベルトコンベアー）に通すことは問題ありませんが、磁気センサーや磁気ワンドはお避けください。

安全上の注意

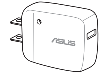
本機は0°～35°の周囲温度でご使用ください。

高温または低音となる場所での使用は電力消費が増えバッテリーの寿命が短くなる原因となる場合があります。バッテリーの寿命を延すためにも、定められた周囲温度の範囲内でご使用ください。

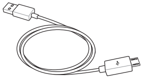
パッケージの内容



VivoTab



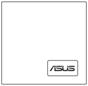
電源アダプター



Micro USBケーブル



各取扱説明書
と製品保証書



お手入れ用クロス



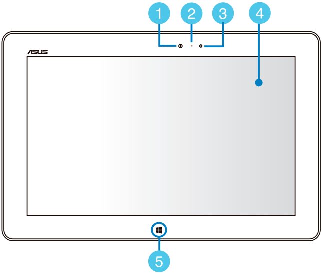
micro SIMカードトレイ用
イジェクトピン

注：

- 付属品が足りないときや破損しているときは、お手数ですが販売店様にご連絡ください。
- パッケージの内容はお買い上げの地域や国により異なる場合があります。

VivoTabの概要

前面



1 **インカメラ**
本機内蔵の2メガピクセルカメラで、画像の撮影と動画の録画が可能です。

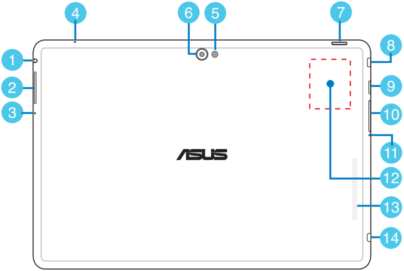
2 **カメラインジケーター**
本機内蔵のカメラ(インカメラ、アウトカメラ)の使用中に点灯します。

3 **光センサー**
周囲の光を検出し自動的にディスプレイパネルの明るさを調節します。

4 **タッチスクリーンパネル**
タッチスクリーンパネル上を指またはスタイラスペンでなぞることでタッチ操作が可能です。

5 **Windows® 8 タッチボタン**
このボタンを押すとスタート画面に戻ります。スタート画面表示中にこのボタンを押した場合は、最後に使用したアプリに戻ります。

背面



1 **ヘッドホン出力/マイク入力コンボジャック**
スピーカーやヘッドホンを接続し、本機のオーディオ信号を出力します。このポートにマイクを接続することもできます。

> **重要：**搭載のマイク入力機能はヘッドセットマイクのみに対応しています。

2 **音量ボタン**
このボタンで音量調整を行うことができます。

3 **リセットホール**

システムが応答しなくなった場合は、クリップ等をリセットホールに挿入し、本機を再起動することができます。

> **重要：**システムの強制終了を行うと、プログラムで保存していないデータは失われる場合があります。重要なデータは定期的にバックアップを取ることをお勧めします。

4 **マイク**

ビデオ会議、ナレーション、簡単な録音などの用途に使用することができます。

5 **カメラLEDフラッシュ**

写真・動画撮影用のフラッシュです。逆行があるとき等にご使用ください。

⑥ **アウトカメラ**
本機内蔵の8メガピクセルカメラで、HDレベルの画像の撮影、動画の録画が可能です。

⑦ **電源ボタン**
電源ボタンで本機の電源ON、スリープ、休止状態とを切り替えます。スリープ/休止状態でこのボタンを押すとシステムをウェイクアップすることができます。

システムからの応答がないときは、電源ボタンを約5秒間押し続けるとシステムを強制終了することができます。

> **重要：**システムの強制終了を行うと、プログラムで保存していないデータは失われる場合があります。重要なデータは定期的にバックアップを取ることをお勧めします。

バッテリー充電インジケーター
デュアルカラーLEDは、その色でバッテリーの充電状態を表示します。

表示内容は次のとおりです。

色	状態
ホワイト	完全に充電された状態です。
オレンジ	本機の充電中です。
OFF	電源アダプターが本機に接続されていません。

8 **microHDMIポート**
microHDMI（High-Definition Multimedia Interface）対応デバイスを接続します。著作権保護技術の1つであるHDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）にも対応していますので、HD DVD、Blu-ray等の著作権保護コンテンツの再生も可能です。

9 **microSDカードスロット**
本製品には数種類のフラッシュメモリーカードを書き込み、読み取ることのできる高速のカードリーダーが内蔵されています。

10 **micro SIMカードスロット**
本機には内蔵型micro SIMカードスロットが搭載されており、W-CDMA及びLTEネットワーク帯域をサポートしています。

注：お買い上げの地域や国により、LTEネットワークへの接続が出来ない場合があります。

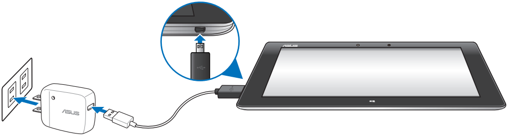
11 **micro SIMカードトレイ用インジェクトホール**
付属のmicro SIMカードトイレ用イジェクトピンをこのホールに挿入し、micro SIMカードトレイを取り出します。

12 **内蔵型NFC（Near Field Communication）**
NFCは連絡先情報や画像、動画、名刺等のファイルを他のデバイスと共有することができます。NFCを使用するには、本機のNFCを他のNFC対応デバイスにかざします。

⑬ **オーディオスピーカー**
本機には内蔵型高品質ステレオスピーカーが搭載されています。オーディオ機能はソフトウェア制御です。

⑭ **Micro USB 2.0ポート**
このポートを使用して本機への電源供給とバッテリーの充電を行うことができます。

本機の充電



手順

Ⓐ USBケーブルを電源アダプターに接続します。

Ⓑ Micro USBコネクターを本機に接続します。

Ⓒ 電源アダプターを電源コンセントに接続します。

重要：

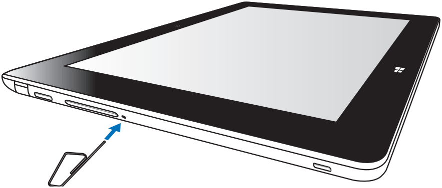
- 必ず付属の電源アダプターとUSBケーブルを使用して本機を充電してください。それ以外の電源アダプターを使用した場合、本機の故障の原因となります。
- 本機の充電の前に、プラグ、アダプター、USBケーブルの保護フィルムを剥がしてください。故障や火災の原因となり危険です。
- 電源アダプターを電源コンセントに接続する際は、入力定格が適切かどうかをご確認ください。アダプターの出力電圧は DC5V、2Aです。
- 本機のバッテリーが完全に充電されたら、電源アダプターを本機から取り外してください。コンポーネントによっては、長時間の充電により劣化が起こる場合があります。
- 本機を電源アダプターに接続しているときは、電源コンセントや電源タップの近くでご使用ください。
- 初めてバッテリーを使用する場合は、バッテリーを完全に充電してからご使用ください（約8時間）。バッテリーの寿命を延ばすことに繋がります。

micro SIMカードの挿入

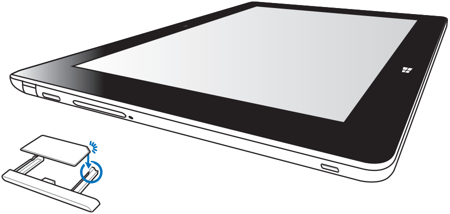
本機を使用してモバイルネットワークに接続するには、micro SIMカードを取り付ける必要があります。

手順

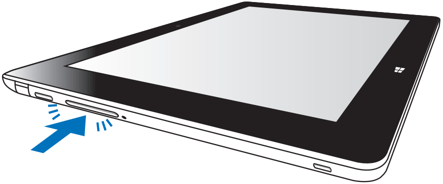
A. 付属のmicro SIMカードトレイ用イジェクトピンをイジェクトホールに挿入し、micro SIMカードトレイを取り出します。



B. micro SIMカードの向きを確認し、トレイの上に置きます。



C. micro SIMカードトレイをスロットに入れます。



付録

Federal Communications Commission Statement

This device complies with FCC Rules Part 15. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference.
- This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment causes harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by doing one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.

- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.
The antenna(s) used for this transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

RF Exposure Information (SAR)

THIS MODEL MEETS INTERNATIONAL GUIDELINES FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It's designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and IEEE, and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate or SAR. The FCC SAR limit in ANSI/IEEE C95.1 and OET Bulletin 65 Supplement C is 1.6 W/kg. The maximum SAR value for each frequency band is listed below:

ASUS VivoTab (FCC ID: MSQK0Y)

FCC SAR values

Band	Scaled SAR 1g (W/Kg)
GSM850	1.13
GSM1900	1.03
WCDMA Band V	1.06
WCDMA Band IV	1.30
WCDMA Band II	1.25
LTE Band 17	0.55
LTE Band 5	0.62
LTE Band 2	1.28
LTE Band 4	1.39
WLAN2.4G	1.11

Canada, Industry Canada (IC) Notices

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003 and RSS-210.

Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device. The IC ID for this device is 3568A-K0Y.

Radio Frequency (RF) Exposure Information

The radiated output power of the Wireless Device is below the Industry Canada (IC) radio frequency exposure limits. The Wireless Device should be used in such a manner such that the potential for human contact during normal operation is minimized.

This device has been evaluated for and shown compliant with the IC Specific Absorption Rate ("SAR") limits when installed in specific host products operated in portable exposure conditions.

Canada's REL (Radio Equipment List) can be found at the following web address:
http://www.ic.gc.ca/app/sitt/reltel/srch/nwRdSrch.do?lang=eng

Additional Canadian information on RF exposure also can be found at the following web address:
http://www.ic.gc.ca/eic/site/smt-gst.nsf/eng/sf08792.html

Canada, avis d'Industrie Canada (IC)

Cet appareil numérique de classe B est conforme aux normes canadiennes ICES-003 et RSS-210.

Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes: (1) cet appareil ne doit pas causer d'interférence et (2) cet appareil doit accepter toute interférence, notamment les interférences qui peuvent affecter son fonctionnement. L'identifiant IC de cet appareil est 3568A-K0Y.

Informations concernant l'exposition aux fréquences radio (RF)

La puissance de sortie émise par cet appareil sans fil est inférieure à la limite d'exposition aux fréquences radio d' Industrie Canada (IC). Utilisez l'appareil sans fil de façon à minimiser les contacts humains lors du fonctionnement normal.

Ce périphérique a été évalué et démontré conforme aux limites SAR (Specific Absorption Rate – Taux d'absorption spécifique) d'IC lorsqu'il est installé dans des produits hôtes particuliers qui fonctionnent dans des conditions d'exposition à des appareils portables.

Ce périphérique est homologué pour l'utilisation au Canada. Pour consulter l'entrée correspondant à l'appareil dans la liste d'équipement radio (REL - Radio Equipment List) d'Industrie Canada rendez-vous sur:
http://www.ic.gc.ca/app/sitt/reltel/srch/nwRdSrch.do?lang=eng

Pour des informations supplémentaires concernant l' exposition aux RF au Canada rendez-vous sur : http://www.ic.gc.ca/eic/site/smt-gst.nsf/eng/sf08792.html

EC Declaration of Conformity

This product is compliant with the regulations of the R&TTE Directive 1999/5/EC. The Declaration of Conformity can be downloaded from http://support.asus.com.

責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害（死亡したケースを含む）と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作為または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証を行いません。

(1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
(2) ユーザーの個人情報やデータの損失
(3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または 貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

Prevention of Hearing Loss

To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.





A pleine puissance, l'écoute prolongée du baladeur peut endommager l'oreille de l'utilisateur.

For France, as required by French Article L. 5232-1, this device is tested to comply with the Sound pressure requirement in NF EN 50332-2:200 and NF EN 50332-1:20000 standards.

CE Mark Warning

CE marking for devices without wireless LAN/ Bluetooth

The shipped version of this device complies with the requirements of the EEC directives 2004/108/EC "Electromagnetic compatibility" and 2006/95/EC "Low voltage directive".

RF Exposure information (SAR) - CE

This device meets the EU requirements (1999/519/EC) on the limitation of exposure of the general public to electromagnetic fields by way of health protection.

The limits are part of extensive recommendations for the protection of the general public. These recommendations have been developed and checked by independent scientific organizations through regular and thorough evaluations of scientific studies. The unit of measurement for the European Council's recommended limit for mobile devices is the "Specific Absorption Rate" (SAR), and the SAR limit is 2.0 W/Kg averaged over 10 gram of body tissue. It meets the requirements of the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP).

For next-to-body operation, this device has been tested and meets the ICNRP exposure guidelines and the European Standard EN 62311 and EN 62209-2. SAR is measured with the device directly contacted to the body while transmitting at the highest certified output power level in all frequency bands of the mobile device.

The maximum SAR value for each frequency band is listed below:

CE SAR values

Band	SAR 10g (W/Kg)
GSM900	1.05
GSM1800	0.79
WCDMA Band V*	0.51
WCDMA Band VIII	0.73
WCDMA Band I	1.38
LTE Band 20	0.63
LTE Band 3	1.07
LTE Band 7	0.71

* Not available in most European countries.

Power Safety Requirement

Products with electrical current ratings up to 6A and weighing more than 3Kg must use approved power cords greater than or equal to: H05VV-F, 3G, $0.75mm^2$ or H05VV-F, 2G, $0.75mm^2$.

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピュータ、ノートパソコン等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉砕され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

筐体のコーティングについて

重要：感電などを防ぐため、本機は絶縁処理が施されている筐体を使用しています（入出力ポート搭載部分を除く）。

廃棄・リサイクルについて



バッテリーは製造元が指定する物をご使用ください。それ以外の物を使用した場合、爆発や本機の故障の原因となります。バッテリー廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。



禁止：本機のバッテリーを通常ゴミとして廃棄しないでください。廃棄の際は地域の条例等に従ってください。



禁止： 本機を一般ゴミとして廃棄しないでください。本機はリサイクル可能な設計がされています。廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。



禁止： 本機を火中に投じないでくださいでください。回路をショートさせないでください。本機を分解しないでください。

Copyrightについて

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

ASUSのロゴはASUSTek Computer Inc.の登録商標です。

本マニュアルの内容は、予告なく変更される場合があります。

モデル名：K0Y (ME400CL)

Manufacturer	ASUSTek COMPUTER INC.
Address, City	4F, No. 150, LI-TE RD., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN
Country	TAIWAN
Authorized Representative in Europe	ASUS COMPUTER GmbH
Address, City	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN
Country	GERMANY